

# 令和元年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年5月14日

上場会社名 株式会社 オーネックス  
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 和雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 鶴田 猛士  
 四半期報告書提出予定日 令和元年5月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和元年6月期第3四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成31年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年6月期第3四半期	4,776	3.8	246	26.6	250	25.1	157	35.8
30年6月期第3四半期	4,601	13.6	336	37.2	334	35.9	245	115.5

(注) 包括利益 元年6月期第3四半期 117百万円 (52.9%) 30年6月期第3四半期 248百万円 (57.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年6月期第3四半期	95.17	
30年6月期第3四半期	148.21	

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
元年6月期第3四半期	10,518	5,570	53.0
30年6月期	10,346	5,486	53.0

(参考) 自己資本 元年6月期第3四半期 5,570百万円 30年6月期 5,486百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		20.00	20.00
元年6月期		0.00			
元年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和元年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,360	3.8	340	3.7	360	9.7	200	13.0	120.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年6月期3Q	1,660,000 株	30年6月期	1,660,000 株
期末自己株式数	元年6月期3Q	3,961 株	30年6月期	3,961 株
期中平均株式数(四半期累計)	元年6月期3Q	1,656,039 株	30年6月期3Q	1,656,143 株

(注)当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（追加情報）	8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	8
（会計方針の変更）	8
（会計上の見積りの変更）	8
（セグメント情報等）	9
（重要な後発事象）	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、企業収益の改善に伴い、景気の緩やかな回復が続きましたが、生産用機械や電気機械など中国経済の減速の影響を受けやすい業種で景況感が低下しました。また、米国・EU経済に回復が見られるなか、通商問題の動向が世界各国に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響により、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済状況の下で、当社グループは、既存取引の見直し、受注活動の強化、生産性向上等に努めました。

主力取引業界である産業工作機械関連、自動車部品関連からの受注は総じて堅調に推移したため、売上高は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりましたが、エネルギーコストや修繕費等経費の増加により、営業利益は前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,776百万円(前年同四半期比3.8%増)、営業利益は246百万円(前年同四半期比△26.6%減)、経常利益は250百万円(前年同四半期比△25.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円(前年同四半期比△35.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 金属熱処理加工事業

金属熱処理業界につきましては、主力取引業界である、産業工作機械関連、自動車部品関連からの受注は、いずれも増加しました。株式会社オーネックステックセンターの売上高も前年同四半期連結累計期間と比較して増加しました。一方、エネルギーコストや修繕費等経費の増加により、セグメント利益は減少しました。

これらの結果、売上高は4,237百万円(前年同四半期比3.6%増)、セグメント利益は184百万円(前年同四半期比△34.8%減)となりました。

## ② 運送事業

運送事業につきましては、人材確保に対応する取引見直しが奏功し、売上高は増加しました。また、備車(外注)便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は538百万円(前年同四半期比5.6%増)、セグメント利益は51百万円(前年同四半期比16.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して171百万円増加し、10,518百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことなどによるものです。

## (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して87百万円増加し、4,947百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことなどによるものです。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して84百万円増加し、5,570百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が40百万円減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年8月10日に公表いたしました業績予想数値を一部訂正いたしました。詳細につきましては、平成31年2月8日に公表した「(訂正・数値データ訂正)「平成30年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」及び「(訂正・数値データ訂正)「平成31年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」をご覧ください。

令和元年6月期の通期個別業績予想につきましては、平成30年8月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的

であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,906,532	2,102,310
受取手形及び売掛金	1,385,711	1,396,075
電子記録債権	656,414	680,831
製品	18,460	22,783
仕掛品	41,576	43,729
原材料及び貯蔵品	97,018	92,899
その他	126,457	104,476
流動資産合計	4,232,172	4,443,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,280,577	1,249,537
機械装置及び運搬具(純額)	1,572,737	1,522,095
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	112,116	130,349
建設仮勘定	678	—
その他(純額)	220,104	208,719
有形固定資産合計	5,462,065	5,386,553
無形固定資産	18,919	67,492
投資その他の資産		
投資有価証券	303,398	254,395
繰延税金資産	209,064	243,964
その他	117,096	120,140
貸倒引当金	—	△132
投資その他の資産合計	629,559	618,368
固定資産合計	6,110,544	6,072,413
繰延資産	3,849	2,554
資産合計	10,346,566	10,518,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,105	179,173
電子記録債務	245,797	222,307
短期借入金	613,287	721,284
1年内償還予定の社債	25,000	15,000
未払金	197,888	201,197
未払費用	287,812	282,026
未払法人税等	95,219	36,273
賞与引当金	22,056	87,258
その他	306,470	198,458
流動負債合計	1,967,637	1,942,980
固定負債		
社債	32,500	17,500
長期借入金	1,987,992	2,090,001
退職給付に係る負債	723,987	737,396
その他	148,363	160,060
固定負債合計	2,892,843	3,004,958
負債合計	4,860,480	4,947,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,829,332	3,953,809
自己株式	△6,019	△6,019
株主資本合計	5,415,107	5,539,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,977	30,552
その他の包括利益累計額合計	70,977	30,552
純資産合計	5,486,085	5,570,136
負債純資産合計	10,346,566	10,518,075

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
売上高	4,601,050	4,776,443
売上原価	3,424,869	3,625,775
売上総利益	1,176,181	1,150,667
販売費及び一般管理費	839,707	903,815
営業利益	336,474	246,852
営業外収益		
受取利息	1,809	1,742
受取配当金	3,411	3,851
受取賃貸料	5,235	5,038
スクラップ収入	3,867	4,773
その他	5,719	8,179
営業外収益合計	20,043	23,584
営業外費用		
支払利息	14,607	13,974
支払手数料	6,396	4,441
その他	1,347	1,881
営業外費用合計	22,352	20,296
経常利益	334,165	250,140
特別利益		
固定資産売却益	1,299	288
投資有価証券売却益	2,224	53
受取和解金	60,000	—
特別利益合計	63,524	342
特別損失		
固定資産除却損	5,117	3,959
特別損失合計	5,117	3,959
税金等調整前四半期純利益	392,572	246,523
法人税、住民税及び事業税	168,175	112,742
法人税等調整額	△21,058	△23,816
法人税等合計	147,117	88,926
四半期純利益	245,455	157,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	245,455	157,597



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
四半期純利益	245,455	157,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,485	△40,425
その他の包括利益合計	3,485	△40,425
四半期包括利益	248,941	117,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,941	117,172
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,091,190	509,860	4,601,050	—	4,601,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	231,728	231,728	△231,728	—
計	4,091,190	741,589	4,832,779	△231,728	4,601,050
セグメント利益	282,690	44,437	327,127	9,346	336,474

(注) 1. セグメント利益の調整額9,346千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年7月1日 至 平成31年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,237,889	538,554	4,776,443	—	4,776,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	241,381	241,381	△241,381	—
計	4,237,889	779,935	5,017,825	△241,381	4,776,443
セグメント利益	184,240	51,857	236,097	10,755	246,852

(注) 1. セグメント利益の調整額10,755千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。